

その他の輸送用機械等製造業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	6~7	被災者が発送工場にて、4t車両の庫内を清掃しようと踏み台に乗りリアステップに右足を乗せたところバランスを崩し左足から工場床に落下し被災した。	56	300～499
4	16～17	強度試験用供試体のSET-UP確認中に、1.4mくらいの高さから脚立を使用して降りる際に足を滑らせ落下し、コンクリート床に右肩と右側顔面を強打した。確認作業時、ヘルメットは着用していた。	63	100～299
6	6～7	焼き戻し作業中、製品の冷却に使用する水を水槽に溜める作業をする際、水を出すバルブ切替中に足を踏み外して、左膝を打ってしまった。通路が狭く、水槽の縁の上に乗って作業していた。	40	50～99
7	16~17	住所の工場二階で屋根の補修中バランスを崩し落下、胸部を打撲骨折した。	25	1～9
7	23~24	トンネル掘削機組立場所で、煙突状態に組み立てられていた本体後胴の内部で、本人は1人で上部で実施していたエレクター装置の保護カバー取付作業状況を確認するために、その作業場所への昇降設備として固縛設置していたハシゴを地上から上がった際に、バランスを崩して背中から地上へ落下（高さ不明）し、落下した際に肩と頭部を地面で強打した。本人は1人で移動しており、状況を視認していた者もおらず、上部状況は発見時の状況から推測した。	43	50～99
11	15～16	工場2Fから1Fに移動する際、階段の中間地点で足を踏み外し、10段程転落した。転落時は荷物の運搬等はなく、両手は自由な状態であった。	58	100～299

11	9~ 10	工場敷地内、台車車輪工程の建屋の屋根で、台風により破損した波板を交換する作業の準備をしている時、2枚目を運び終わり戻る際、別の建屋の屋根にある明かり取り用のプラスチック製波板に乗ってしまい、高さ4.5mから落ちてしまった。下に柵があり、その縁で反転し、頭部より落ちた為、左頭蓋骨陥没が致命傷となり死に至ってしまった。	50 43~ 99
----	----------	--	-----------------

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)